

# NITE講座

# 1からわかる！認定・認証

(独) 製品評価技術基盤機構 (NITE)  
認定センター (IAJapan)

# 本日の内容

1. 「認定」と「認証」とは？
2. 認定機関について
3. 国際相互承認（MRA・MLA）について
4. まとめ

# 本日の内容

1. 「認定」と「認証」とは？
2. 認定機関について
3. 国際相互承認（MRA・MLA）について
4. まとめ

# 認定とは？ 認証とは？



# なぜ必要？

「安心」して商品  
を買いたい  
「信頼できる」と  
ころに頼みたい

自分自身での判断は  
難しい  
信じていい口コミな  
のか？



認定・認証さ  
れているから  
安心！



# なぜ必要？

- 国際的にも公平な立場での「認定」「認証」を行う枠組みが必要  
→のちほど
- 国際的な考え方の統一  
→国際規格上の「認定」「認証」の定義



# 国際規格上の定義（一部のみ）

ISO/IEC 17000 : 2020 (JIS Q 17000:2022) 適合性評価－用語及び一般原則 より

## 7.6 認証 (certification)

認定(7.7)を除く、適合性評価の対象に関する第三者証明。

## 7.7 認定 (accreditation)

適合性評価機関（4.6）に関し、個別の適合性評価活動を行う能力、公平性及び一貫性のある運用を公式に実証したことを伝える第三者証明。

※適合性評価：適合性評価の対象（例えば、製品、プロセス、サービス、システム、据付け、プロジェクト、データ、設計、材料、主張、人、機関若しくは組織又はそれらの組合せ）に対して、規定要求事項（明示されたニーズまたは期待）が満たされていると実証すること。

# 「認定」「認証」、その他類義語

- **認定**：みとめてきめること。ある事実や資格の有無、事柄の当否などを判断して決定すること。
- **認証**：①一定の行為または文書が正当な手続・方式でなされたことを公の機関が証明すること。特定公務員の任免、批准書や外交文書には天皇の認証が必要とされ、また、株式会社の定款には公証人が認証を行う。②コンピューター-システムで、対象の信頼性・正当性を確認すること。ユーザーの利用資格を確認することなど。暗号技術を用いて実現される。
- **認可**：①認めて許すこと。②〔法〕ある法人・私人の法律上の行為が公の機関（行政庁）の同意を得なければ有効に成立しない場合、これに同意を与えてその効果を完成させる行政行為。
- **許可**：①許すこと。願いを聞きとどけること。「外泊を一する」「一がおりる」②〔法〕一般に禁止されている行為について、特定人に対しまたは特定の事件に関して禁止を解除する行政行為。
- **公認**：国家・社会・政党などが正式に認めること。
- **登録**：①帳簿にしるしのせること。「会員として一する」②〔法〕一定の事項を公証するために、公簿に記載すること

他にも、「承認」「許認可」「認知」など…

出典：「広辞苑」より



# 認定とは

?

適合性評価機関

認定

第三者が能力を「認定」

認定

校正事業者  
試験事業者等の能力

認証機関の能力



# 認定と認証

?

適合性評価機関

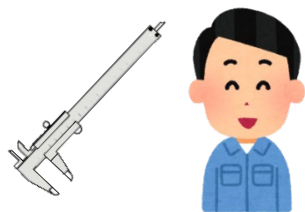
認定

第三者が能力を「認定」

認定

校正事業者  
試験事業者等の能力

認証機関の能力



認証機関が  
対象物を  
「認証」

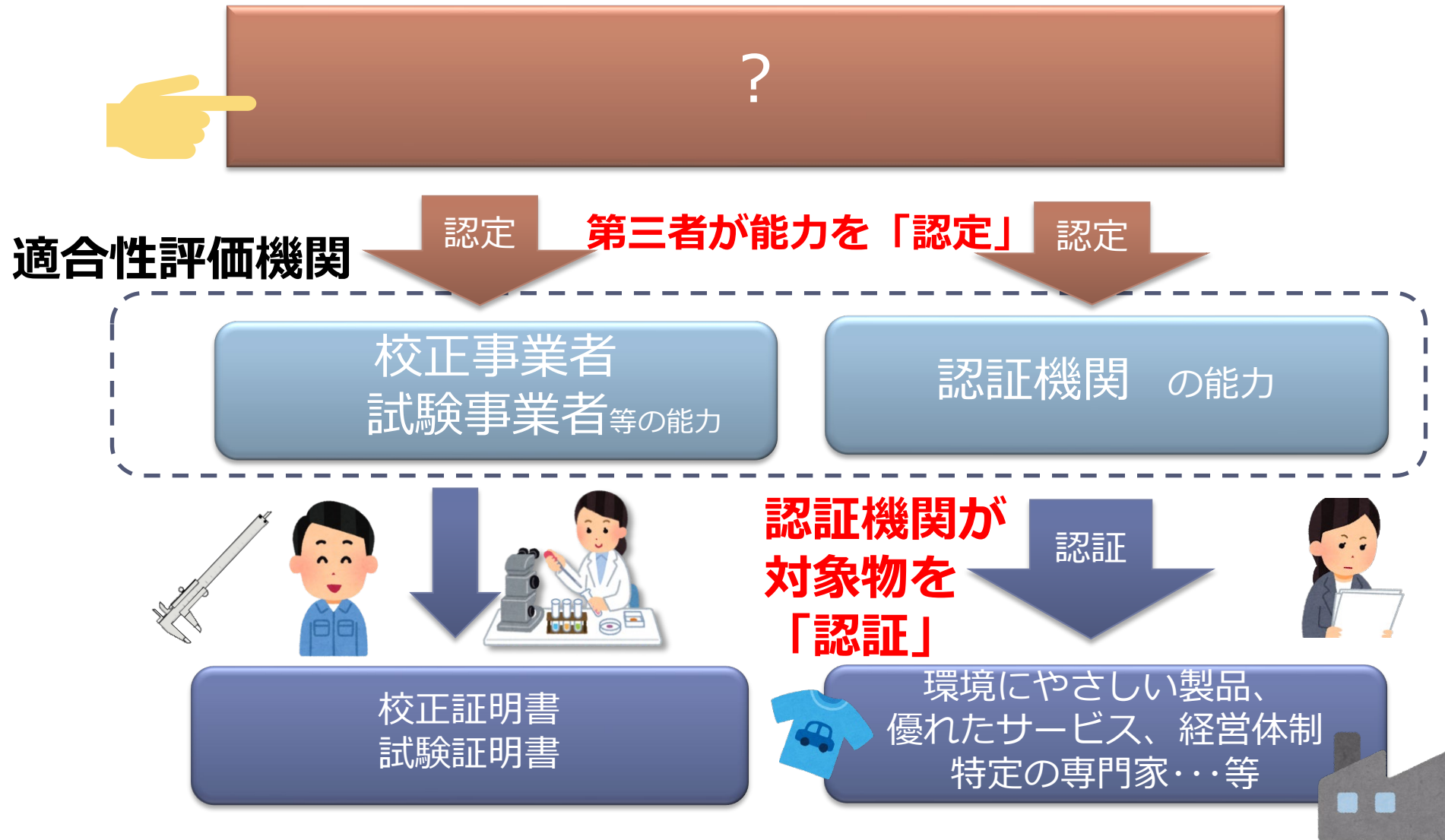
認証



環境にやさしい製品、  
優れたサービス、経営体制  
特定の専門家・・・等



# 認定と認証



# 認定と認証

認定機関

適合性評価機関

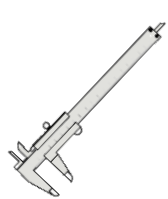
認定

第三者が能力を「認定」

認定

校正事業者  
試験事業者等の能力

認証機関の能力



校正証明書  
試験証明書

認証機関が  
対象物を  
「認証」

認証



環境にやさしい製品、  
優れたサービス、経営体制  
特定の専門家・・・等



# 認定と認証とは？

- 適合性評価の対象により用語は異なるが、**第三者証明**として判断し、ユーザーに信頼性の高い製品・サービスを提供するという観点では共通。
- 認定、認証制度のおおもととして、「認定機関」が存在する



# 本日の内容

1. 「認定」と「認証」とは？
2. 認定機関について
3. 国際相互承認（MRA・MLA）について
4. まとめ

# 認定機関とは

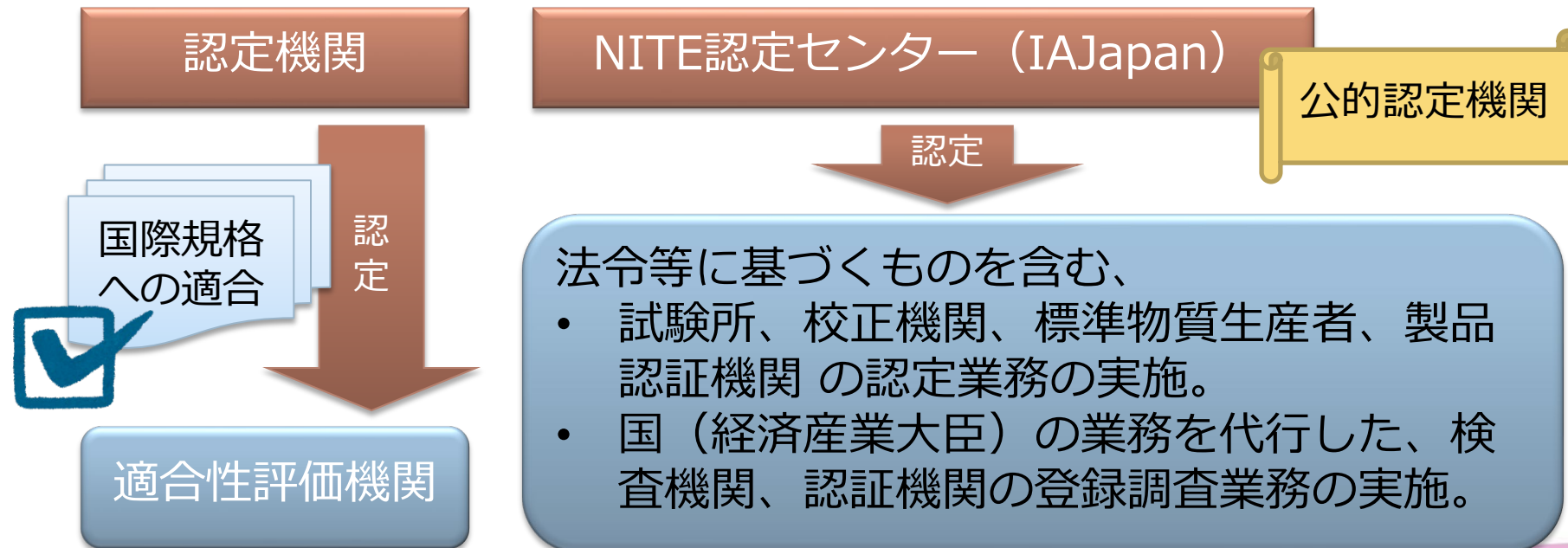
## 国際規格上の定義

ISO/IEC 17000 : 2020 (JIS Q 17000:2022) 適合性評価 – 用語及び一般原則

### 4.7 認定機関 (accreditation body)

認定(7.7)を実施する、権威ある機関。

(備考 認定機関の権威は、政府、公的機関、契約、市場での受け入れ、又はスキームオーナーに由来する。)



# IAJapanの認定プログラム



JCSS

**MLAP**

(計量法特定計量証明事業者認定制度)

Specified Measurement Laboratory Accreditation Program



**JCSS**

(計量法校正事業者登録制度)

Japan Calibration Service System

**JNLA**

(産業標準化法試験事業者登録制度)

Japan National Laboratory Accreditation System



**ASNITE**

(製品評価技術基盤機構認定制度)

Accreditation System of National Institute of Technology and Evaluation





# 認定対象と認定基準

認定プログラム	認定対象となる適合性評価機関	認定基準（国際規格※）
JNLA	試験所	ISO/IEC 17025
JCSS	校正機関 標準物質生産者	ISO/IEC 17025 ISO 17034
MLAP	ダイオキシン分析事業者等	関係告示
ASNITE	・ JCSS以外の校正機関、JNLA以外の試験所、ITセキュリティ評価機関 ・ 標準物質生産者 ・ 製品認証機関	ISO/IEC 17025  ISO 17034 ISO/IEC 17065

※国際規格の名称は以下のとおり

ISO/IEC 17025：試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項

ISO 17034：標準物質生産者の能力に関する一般要求事項

ISO/IEC 17065：適合性評価－製品、プロセス及びサービスの認証を行う機関に対する要求事項

# 国内認定機関 (相互承認取決に署名しているもの)



IAJapan : International Accreditation Japan  
独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センター



JAB : Japan Accreditation Board  
公益財団法人日本適合性認定協会



VLAC : Voluntary EMC Laboratory Accreditation Center  
株式会社電磁環境試験所認定センター



ISMS-AC : ISMS Accreditation Center  
一般社団法人情報マネジメントシステム認定センター

# 本日の内容

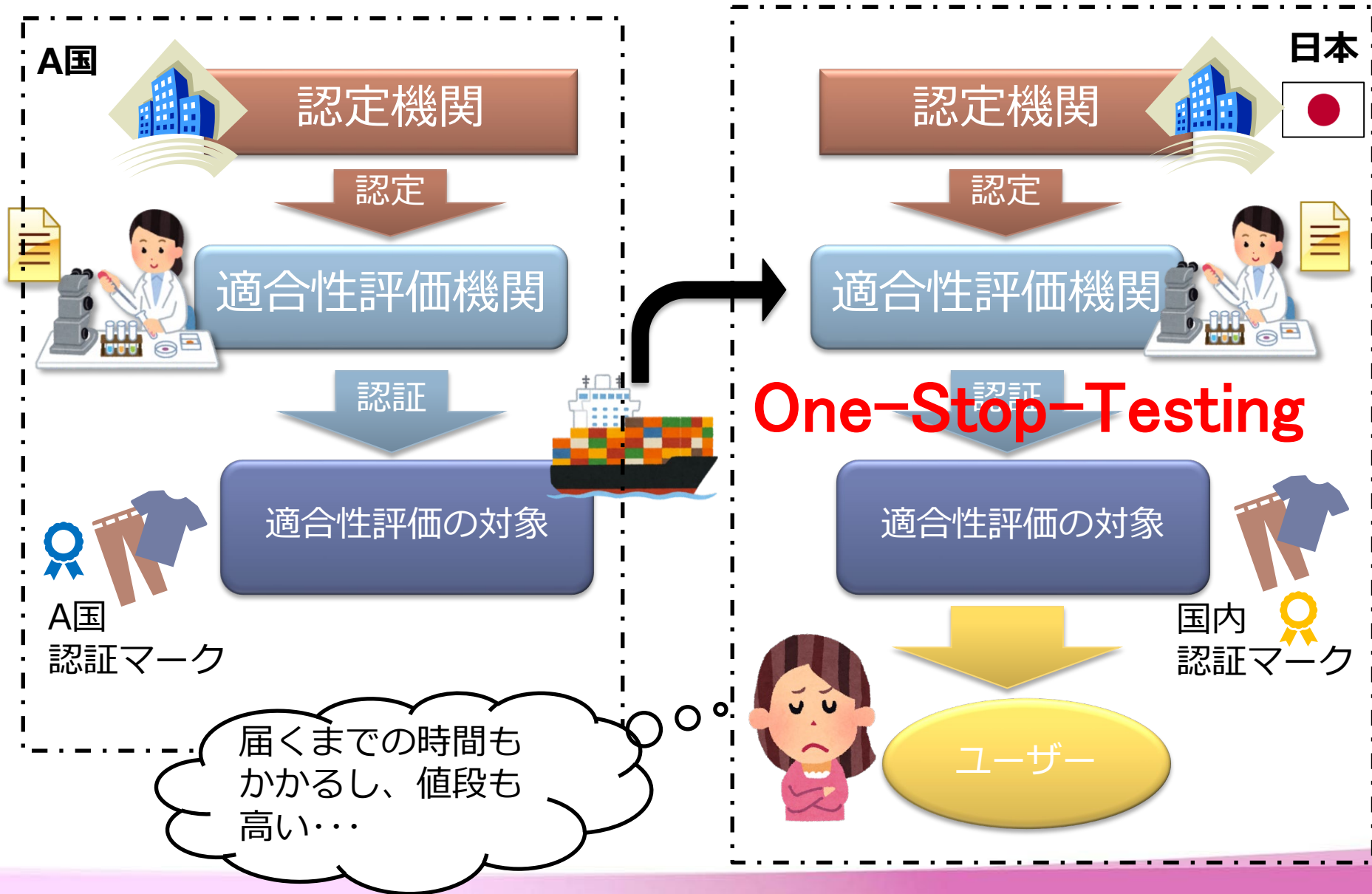
1. 「認定」と「認証」とは？
2. 認定機関について
3. 国際相互承認（MRA・MLA）について
4. まとめ

# なぜ必要？

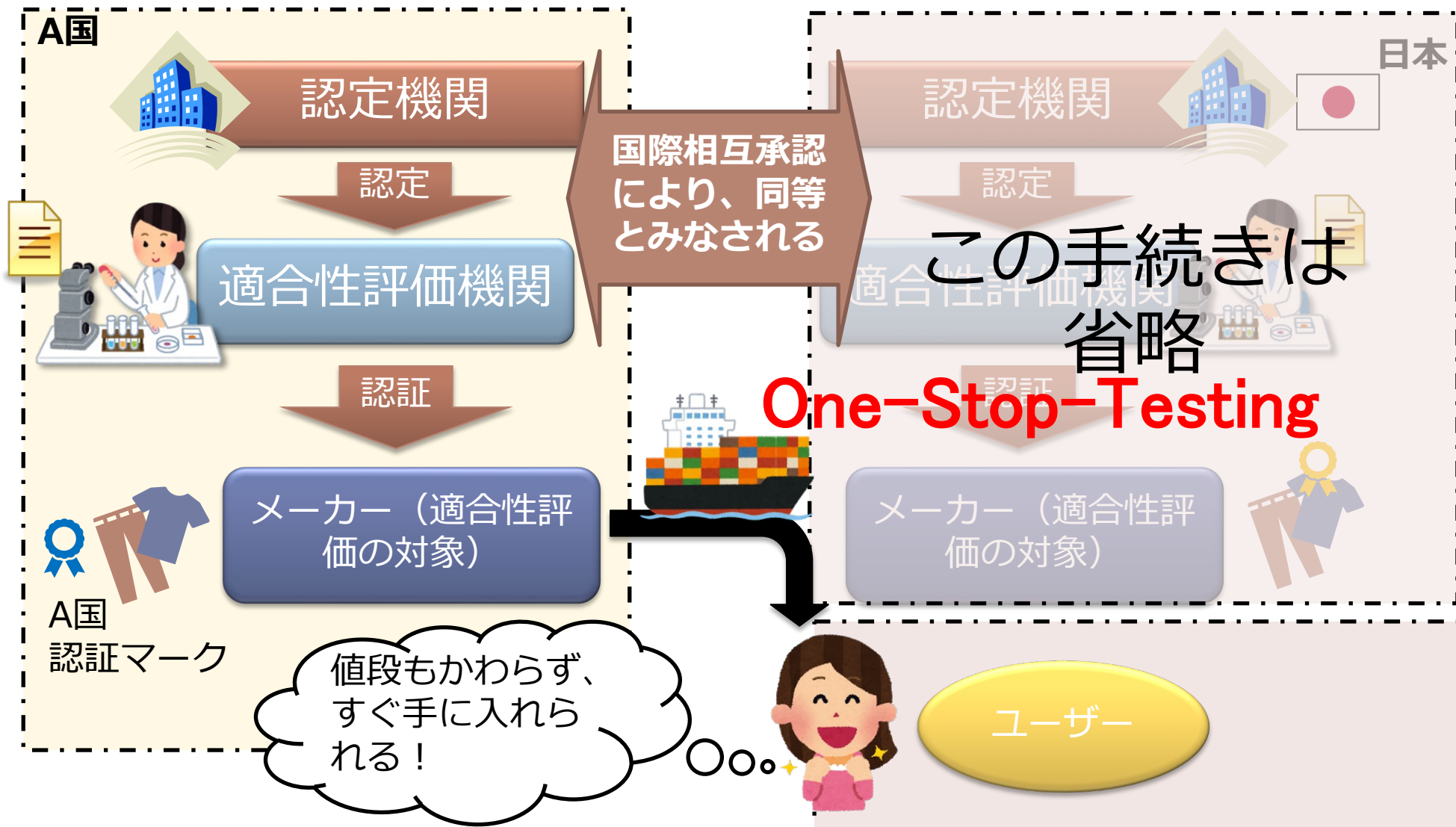
- 国際的にも公平な立場での「認定」「認証」を行う枠組みが必要  
→のちほど
- 国際的な考え方の統一  
→国際規格上の「認定」「認証」の定義



# 国際的な枠組みがないと...

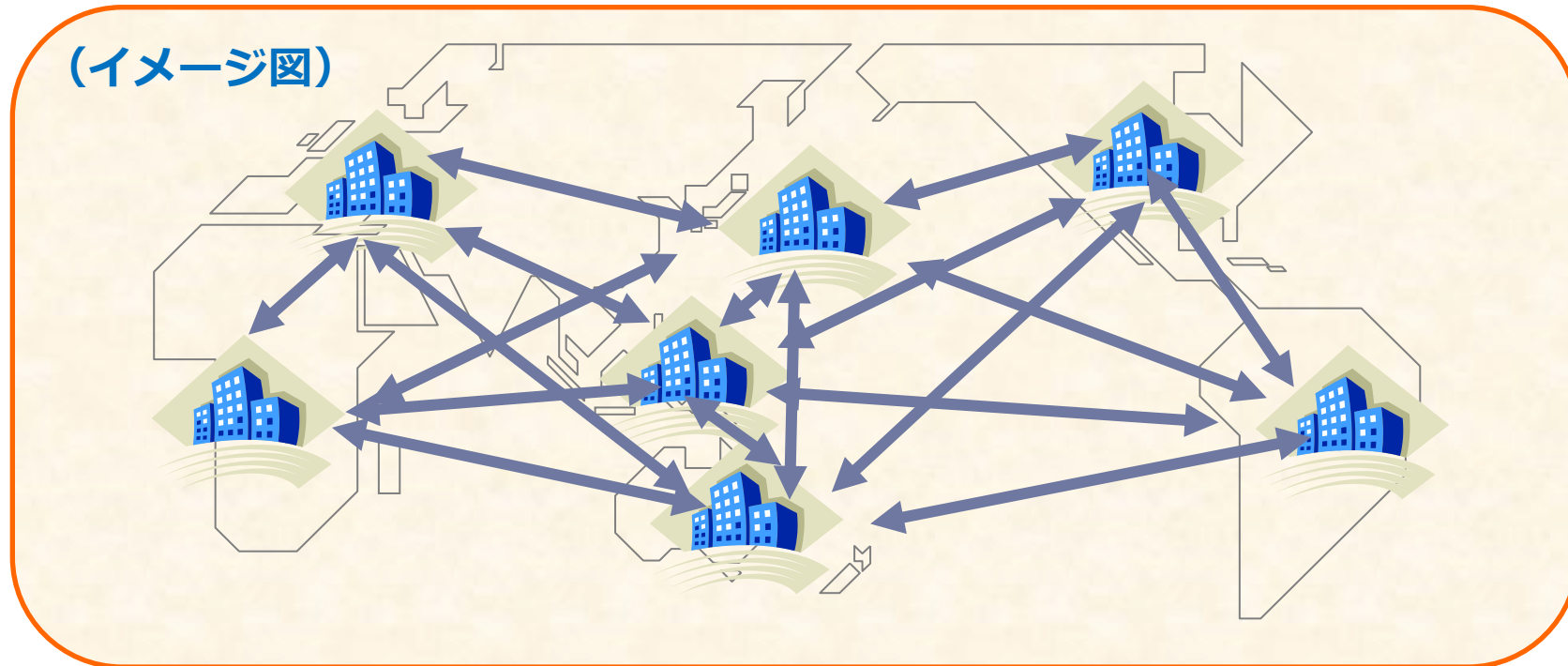


# 国際的な枠組みがあると...

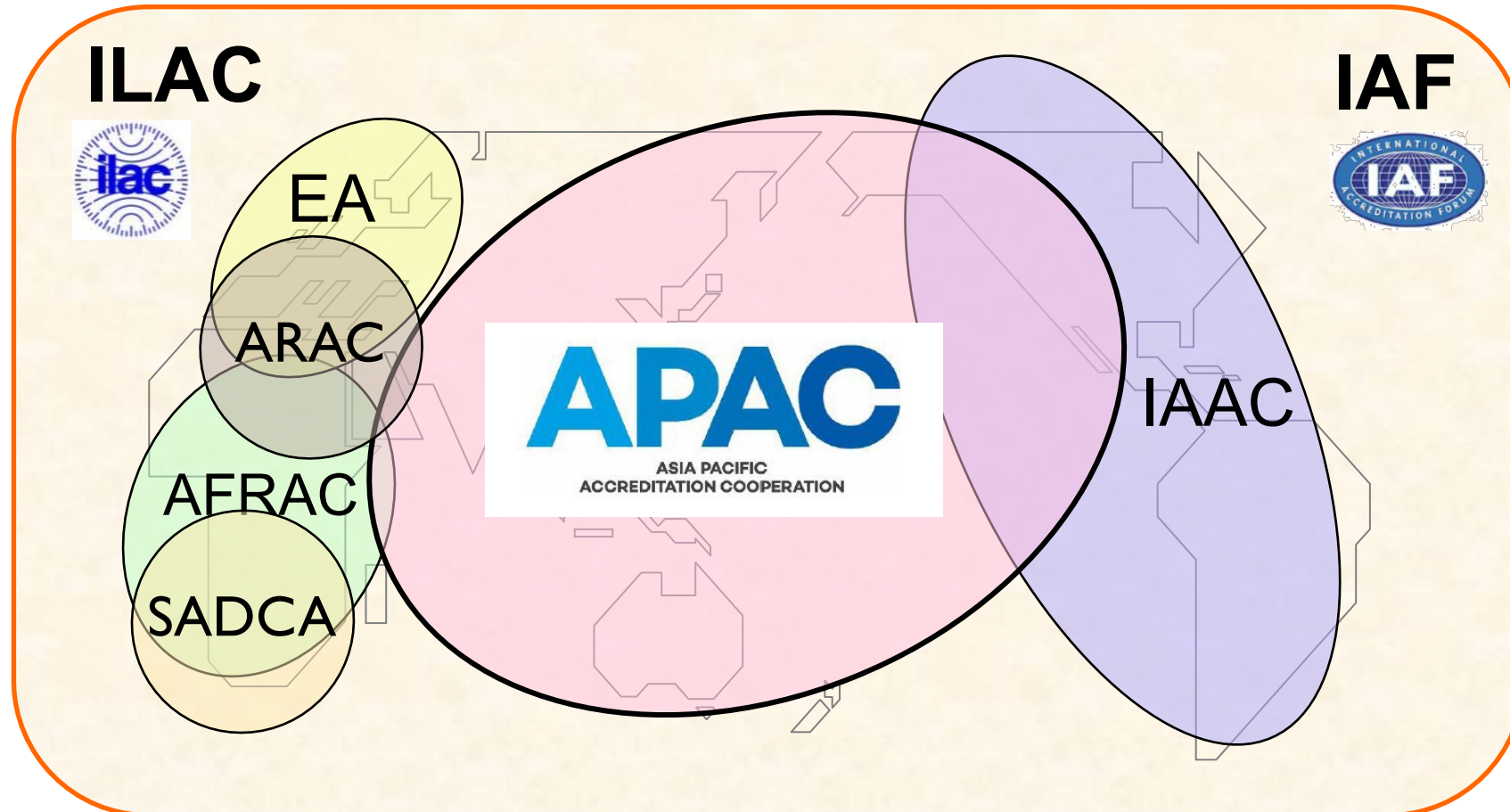


# 国際相互承認 (MRA・MLA)

- 各国の認定機関がお互いに承認し合うこと (による「第三者証明」)
- 認定機関は、ISO/IEC 17011 : 2017により、組織体制の**透明性・公平性・独立性**が要求される。



# 認定機関の国際相互承認ネットワーク



ILAC: 国際試験所認定協力機構 (102)、IAF: 国際認定フォーラム (84)  
APAC: アジア太平洋認定協力機構 (45) ※ ( ) 内の数は、2019年4月1日現在の相互承認取決 署名認定機関数  
EA: 欧州認定協力機構、IAAC: 米州認定協力機構  
ARAC: アラブ認定協力機構、AFRAC: アフリカ認定協力機構、SADCA: 南アフリカ認定開発協力機構



# 国際相互承認（マークの紹介）

認定証、証明書各種に、ILAC MRA、IAF MLA マークがあれば、国際相互承認対応であることがわかる

MRAマーク  
認定証



ILAC MRAマーク



IAF MLAマーク

認定シンボル付  
証明書






認定シンボル = ILAC MRAマーク + JCSS標章



ILAC MRAマーク + JNLA標章

# 校正機関・試験所が発行する 国際MRA証明書（イメージ）

認定シンボル付JCSS校正証明書



JCSS  
JCSS 0000

**校正証明書**

依頼者	XXXXXX
住所	XXXXXX
品名	XXXXXX
型式	XXXXXX


.....

東京都XX区〇〇町1-2-3  
株式会社〇〇校正センター  
所長 XXXXX

---

.....  
.....

認定シンボル付JNLA試験証明書



JNLA  
JNLA 00000JP

**試験報告書**

依頼者	XXXXXX
住所	XXXXXX
品名	XXXXXX
型式	XXXXXX

.....

東京都XX区〇〇町1-2-3  
株式会社〇〇試験センター  
所長 XXXXX

---

.....  
.....

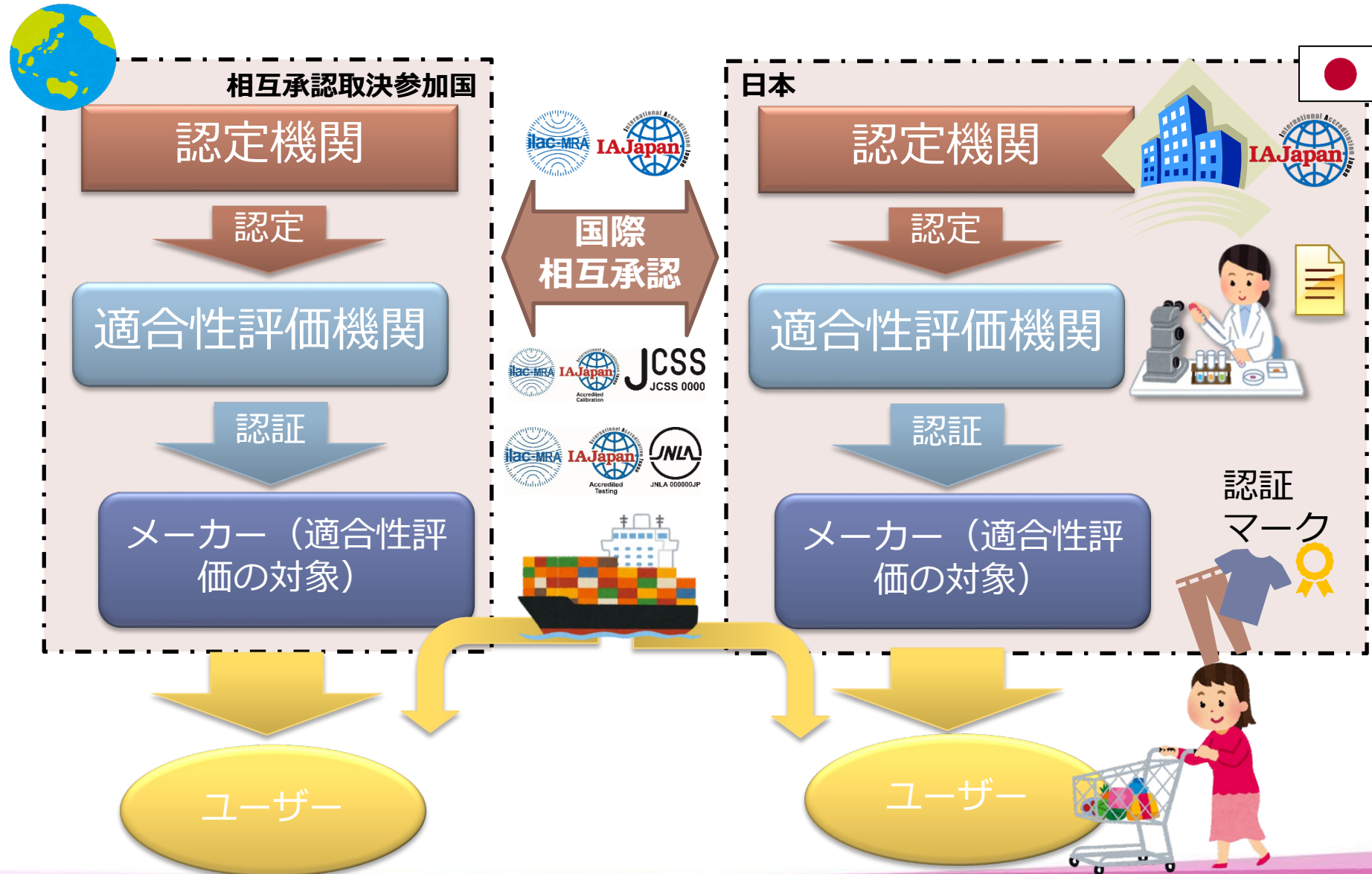
# 国際的な枠組みがあると...



# 本日の内容

1. 「認定」と「認証」とは？
2. 認定機関について
3. 国際相互承認（MRA・MLA）について
4. まとめ

# 本日のまとめ



# おわりに

## ～用語の定義から見る「認証」対象の広がり～

ISO/IEC 17000 : 2004 (JIS Q 17000:2005) 適合性評価－用語及び一般原則 より

### ◆ 認証 (certification)

製品、プロセス、システム又は要員に関する第三者証明。



ISO/IEC 17000 : 2020 (JIS Q 17000:2022) 適合性評価－用語及び一般原則 より

### ◆ 認証 (certification)

認定を除く、適合性評価の対象に関する第三者証明。

例えば、  
製品、プロセス、サービス、システム、据付け、プロジェクト、データ、設計、材料、主張、人、機関若しくは組織又はそれらの組合せ

ご清聴ありがとうございました

お問い合わせ先 NITE講座認定センター事務局  
製品評価技術基盤機構 認定センター  
電話： 03-3481-1948  
メール：[iajapan-info@nite.go.jp](mailto:iajapan-info@nite.go.jp)